

# 安全データシート SDS

改訂日 : 2023.2.1

## 1. 製品名及び会社情報

〔製品名〕

ケイ酸カリウム超高速浸透性止水防水材 シリカプロ X1

〔会社情報〕

会社名 有限会社タクミ  
住所 広島県福山市駅家町万能倉1246番地5  
電話番号 084-999-2244

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類, ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1

眼損傷性/刺激性 : 区分 1

急性毒性 : 区分外

※記載のないものは「分類対象外」, 「分類できない」または「区分外」。

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

注意書き :

【安全対策】

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

ミストを吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

皮膚(または毛)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる

場合は外すこと。直ちに医師に連絡すること。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に診断/手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

含有成分及び含有量

成分名	化学式	含有量wt%	CAS No.	化審法No.	PRTR法No.
珪酸カリウム	K <sub>2</sub> O・SiO <sub>2</sub>	12～20	1312-76-1	1-459	非該当
浸透助剤	—	1.0>	非公開	非該当	非該当
純水	H <sub>2</sub> O	残部	7732-18-5	—	非該当

#### 4. 応急措置

吸入した場合

直ちに作業を中止し空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

異常な症状がある場合は直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに触れた部位を多量の水で洗浄、石鹼で洗い落とす。汚染された衣服は脱ぎ、再使用する際は充分洗濯する。症状が続く場合は医師の手当てを受ける。

目に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。

コンタクトレンズを着用し容易にはずせる場合は外し眼を充分洗浄すること。

飲み込んだ場合

水で口中を洗い、水又は牛乳を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。

速やかに医師の手当てを受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火方法

不燃性である。周辺の火災に適した消火を行う。

適切な消火剤

水、粉末、泡等、周辺の火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

通常の状況下では不適切な消火剤はない。

特有の消火方法

周辺火災の場合は、可能ならば容器を安全なところに移す。関係者以外は速やかに安全な場所へ退去させる。漏出した物質や消火剤等が河川等に排出されないように配慮する。

消火を行う者の保護

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人に対する注意事項、保護具および緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用する。（「8.ばく露防止措置および保護措置」の項 参照）

環境に対する注意事項

流出したもの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和

少量の場合には、おがくず・ウエス・砂などで吸収させて空容器に回収する。

回収できない残分は希塩酸又は希硫酸で中和する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：皮膚、粘膜や着衣に触れたり、眼に入れたりしないようにする。取扱い後は手や顔をよく洗う。

局所排気・全体排気：作業場は換気を充分行う。

安全取扱い注意事項：適切な保護具を着用して取り扱う。作業後には手、顔をよく洗う。

保管

適切な保管条件：直射日光を避け涼しい場所に密栓して保管する。

混触禁止物質：強酸

安全な容器包装材料：十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

珪酸カリウム : 厚生労働省告示の管理濃度 記載なし

その他成分 : 情報なし

許容濃度

珪酸カリウム : 日本産業衛生学会 記載なし

ACGIH TLV-TWA 記載なし

その他成分 : 情報なし

#### 設備対策

作業場は換気を充分に行う。また作業場の近くには、手洗い、洗顔等の設備を設ける。

#### 保護具

呼吸器の保護具： 保護マスクを着用する。

手の保護具： 保護手袋を着用する。

目の保護具： ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具： 必要に応じ適切な保護衣を着用する。

衛生対策： 取扱後はよく手を洗うこと。

### 9. 物理的及び化学的性質

外 観 : 無色から淡白色液体

比重 : : 1.115 (20°C)

PH : 10~12

溶解度 : 水に任意に溶解する。

引火点 : 引火しない

### 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱いに於て安定である。

反応性 : 酸と反応してSiO<sub>2</sub>のゲルを生成する。

避けるべき条件 : 両性金属と接触させない。濃厚な酸を加えない。空気との接触を避ける。

避けるべき材料 : アルミニウム、亜鉛、スズ、鉛等の両性金属

危険有害な分解生成物 : 該当情報なし。

### 11. 有害性情報

※製品としての知見なし。(K<sub>2</sub>O・SiO<sub>2</sub>として次の情報がある)

急性毒性 : 急性経口毒性 LD50(ラット) 5,700mg/kg

急性経皮毒性 データなし

皮膚腐食性・刺激性: 皮膚や粘膜を刺激する。

眼に対する重篤な損傷・刺激性: 眼の粘膜を腐食する。激しい刺激有り。

### 12. 環境影響情報

※製品としての知見なし。(K<sub>2</sub>O・SiO<sub>2</sub>として次の情報がある)

水生環境急性有害性 : 該当情報なし。

残留性/分解性 : 土壌中で容易に分解する。

生体蓄積性 : 該当情報なし。

生態毒性 : 該当情報なし。

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄の際は、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等関連法令を遵守し、適切な廃棄処理業者に委託すること。

#### 汚染容器及び包装

清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

### 14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。その他法令に基づく。

#### 国連番号、国連分類

国連番号 : 3266

品名(国連輸送名) : その他の腐食性物質(無機物、液体、アルカリ性のもの)

国連分類 : クラス8

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 非該当

### 15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当しない。

毒物及び劇物取締法 : 該当しない。

消防法	: 該当しない。
労働安全衛生法	: 該当しない。
航空法	: その他の腐食性物質(腐食性物質:クラス9)

## 16. その他の情報

主な参考文献:

原材料/製品メーカーMSDS

15308の化学物質(化学工業日報社)

Merck Index 14th

危険・有害性情報は現時点で得られた情報です。必ずしも十分ではないので取扱いには十分注意してください。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。